

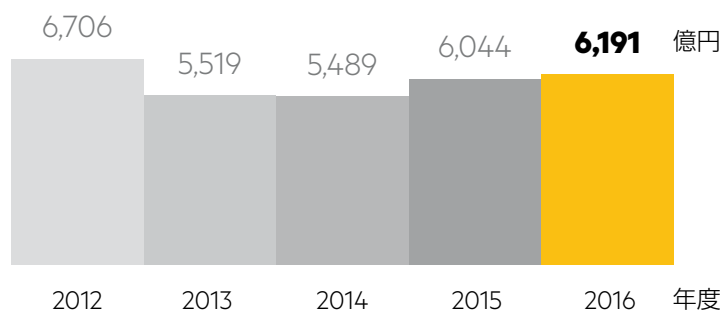
2016年度 財務ハイライト

アクサ生命保険株式会社(以下、「旧アクサ生命」)は、2014年10月にアクサ ジャパン ホールディング株式会社に吸収合併されましたが、存続会社においてその業務と商号を継承しております。「2016年度 財務ハイライト」における2012年度から2013年度の数値は、合併前の旧アクサ生命の業績を記載しています。また2014年度の数値は、合併前(上半期4月～9月期)の旧アクサ生命とアクサ ジャパン ホールディング株式会社の業績の合算値と、合併後(下半期10月～3月期)のアクサ生命の業績を合算した数値(主要な内部取引控除後の数値)を記載しています。

(単位: 億円)

	2012	2013	2014	2015	2016
損益計算書項目					
保険料等収入	6,706	5,519	5,489	6,044	6,191
資産運用収益	2,537	2,668	2,879	1,381	2,007
保険金等支払金	4,844	5,642	5,375	5,000	4,554
経常利益	618	835	517	408	412
契約者配当準備金繰入額	93	87	84	80	79
当期純利益又は当期純損失(△)	320	466	△ 1,654	126	158
貸借対照表項目					
総資産額	63,141	63,525	66,144	68,947	70,574
純資産額	2,909	2,828	3,864	4,452	3,807
主要指標					
基礎利益	661	857	617	419	357
実質純資産	7,536	7,456	9,035	11,572	9,671
ソルベンシー・マージン比率	674.1%	713.4%	695.3%	761.2%	745.6%
契約業績					
年換算保険料ベース					
保有契約年換算保険料	5,569	5,296	5,189	5,250	5,357
新契約年換算保険料	796	522	502	538	521
契約高ベース					
保有契約高	191,881	190,079	191,765	188,638	195,098
個人保険	131,606	133,235	137,499	144,285	152,631
個人年金保険	18,661	17,667	16,708	15,198	14,121
団体保険	41,613	39,176	37,557	29,155	28,345
団体年金保険保有契約高	5,898	5,729	5,532	5,403	5,168
新契約高	15,139	14,100	15,563	17,494	18,849
個人保険	13,840	13,499	15,011	17,205	18,745
個人年金保険	1,203	381	225	122	△ 8
団体保険	95	219	326	166	113

保険料等収入

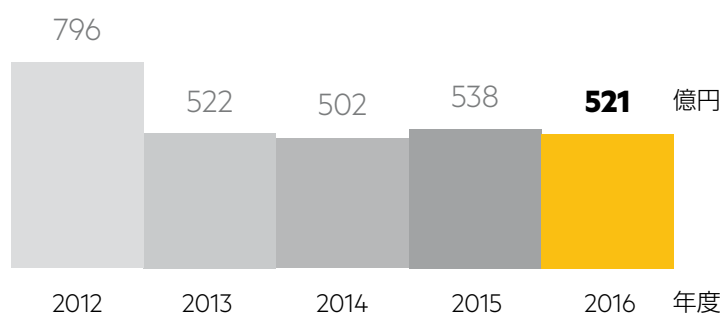


保険料等収入とは？

ご契約者から実際に払い込まれた保険料の総額で生命保険会社の収入の大半を占めており、再保険収入も含まれます。

一般事業会社の売り上げにあたる保険料等収入は、前年度比2.4%増の6,191億円となりました。これは主にユニット・リンク保険や『アクサの「外貨建て」の変額終身保険 アップサイドプラス』の好調な販売や終身医療保険の保有の増加によるものです。

新契約年換算保険料

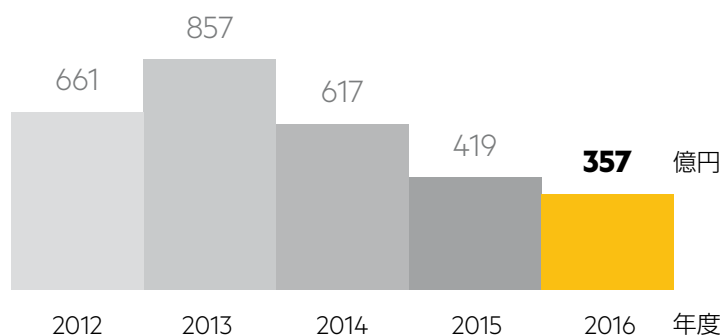


年換算保険料とは？

契約ごとに異なる保険料の支払い方法の違いを調整し、契約期間中に平均して支払うと仮定した場合に、生命保険会社が保険契約から1年間にどのくらいの保険料収入を得ているかを示しています。

新契約年換算保険料は、521億円となりました。これは主に、『アクサの「外貨建て」の変額終身保険 アップサイドプラス』の好調な販売が、一部、変額年金の販売の減少により相殺されたことによるものです。

基礎利益

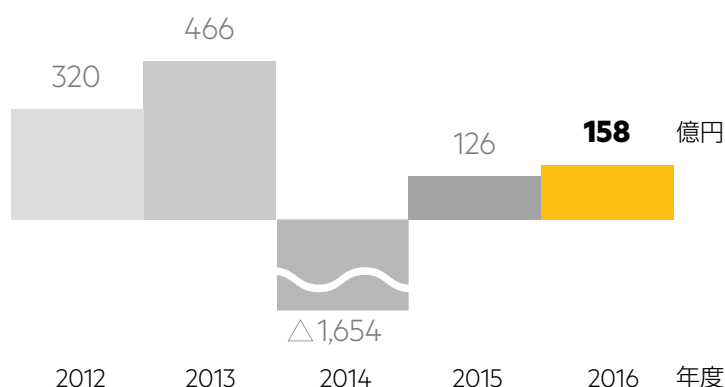


基礎利益とは？

保険料収入や保険金・事業費支払等の保険関係の収支と、利息および配当金等収入を中心とした運用関係の収支からなる生命保険会社の基礎的な期間収益の状況を表す指標で、一般事業会社の営業利益や、銀行の業務純益に近いものです。経常利益から有価証券の売却損益などの「キャピタル損益」と「臨時損益」を控除して求めます。

基礎利益は、前年度比14.8%減の357億円となりました。

当期純利益



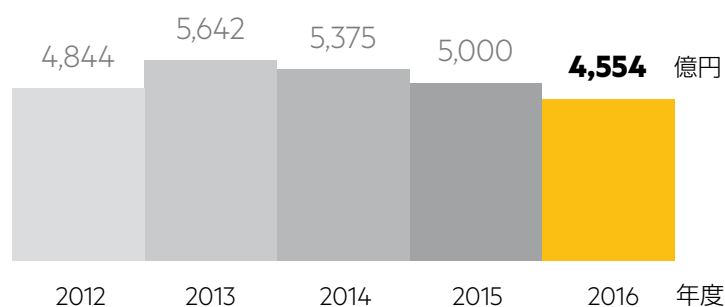
当期純利益とは？

税引前当期純利益から法人税および住民税ならびに法人税等調整額を控除した金額で、会社のすべての活動によって生じた純利益を意味します。

当期純利益は、前年度比25.2%増の158億円となりました。

※ 2014年度はアクサ ジャパン ホールディング株式会社と旧アクサ生命の企業結合会計に伴い、一過性の特別損失が発生しました。

保険金等支払金

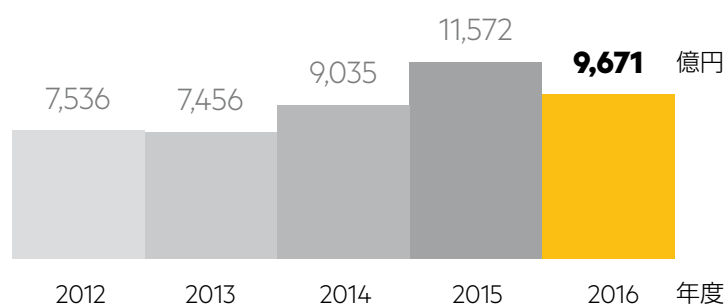


保険金等支払金とは？

保険金、年金、給付金および解約返戻金などの保険契約上の支払金です。(再保険収入も含む)

保険金等支払金は、前年度比8.9%減の4,554億円をお客さまにお支払いしました。

実質純資産

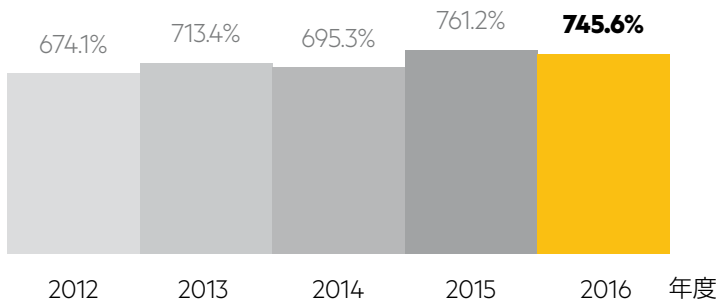


実質純資産とは？

時価ベースの資産から負債(価格変動準備金や危険準備金などの資本性の高い負債を除く)の合計を差し引いて算出します。生命保険会社の健全性を示す行政監督上の指標のひとつで、マイナスになると実質債務超過と判断され、監督当局の早期是正措置の対象となることがあります。

実質純資産は、9,671億円となりました。

ソルベンシー・マージン比率



ソルベンシー・マージン比率とは?

生命保険会社は将来の支払いに備えて責任準備金を積み立てており、通常予測できる範囲のリスクには責任準備金で対応できます。ソルベンシー・マージン比率は、通常の予測を超えて発生する大災害や株価の大暴落などのリスクに対し、支払余力を判断するための行政監督上の指標のひとつです。純資産などの内部留保と有価証券含み損益などの合計(ソルベンシー・マージン総額)を数値化したリスクの合計額で除して求めます。この数値が200%を下回ると、監督当局による早期是正措置の対象となります。

保険金の支払余力を示すソルベンシー・マージン比率は、より厳格化された計算基準においても745.6%と、健全性の基準となる200%を大きく上回る水準を維持しています。

S&P 保険財務力格付け

A+

AXAグループの「戦略的に重要な中核子会社」として、保険財務力について「A+:保険契約債務を履行する能力は強い」と評価されています。

S&P 保険財務力格付けの定義

AAA	保険契約債務を履行する能力は極めて強い。 S&Pの最上位の保険財務力格付け。
AA	保険契約債務を履行する能力は非常に強い。 最上位の格付け(AAA)との差は小さい。
A	保険契約債務を履行する能力は強いが、 上位2つの格付けに比べ、事業環境が悪化した場合、 その影響をやや受けやすい。
BBB	保険契約債務を履行する能力は良好だが、 上位の格付けに比べ、事業環境が悪化した場合、 その影響をやや受けやすい。

(BB以下に格付けされる保険会社は、強みを上回る不安定要素を有する可能性があるものとみなされます)

格付けとは? 独立した第三者である格付機関が保険会社の保険金の支払いに関する確実性をアルファベットなどで表した意見で、アクサ生命はスタンダード&プアーズ(S&P)より保険財務力格付けを取得しています。S&Pの格付基準については右表をご覧ください。

※ 上記の格付けは2017年6月30日時点の評価であり、将来的には変化する可能性があります。また、格付けは格付機関(スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン株式会社)の意見であり、保険金支払い等についての保証を行うものではありません。最新の格付けは、格付機関のホームページをご覧ください。